

<p>教育事業名</p>	<p>平成28年度 国立室戸青少年自然の家教育事業</p> <p style="text-align: center;">ボランティアリーダー自主企画事業</p>	
<p>事業の趣旨</p>	<p>研修支援や教育事業及び業務においてボランティア活動を行う法人ボランティアを育成する活動のまとめとして、ボランティア自らが企画・準備・運営をする。企画事業を通して、ボランティアとして一つの事業を作り上げるスキルを身につける。</p>	
<p>対象者</p>	<p>小学4～6年生</p>	
<p>実施期間</p>	<p>平成29年 1月14日(土)～平成29年 1月15日(日) 1泊2日</p>	
<p>参加者 (人数/定員)</p>	<p>38名/30名(小学生) 20名(ボランティアリーダー)</p>	
<p>活動プログラム</p>	<p style="text-align: center;">1月14日(土)</p> <p>9:30 はりまや橋観光バスターミナル発 11:50 受付・オリエンテーション 12:15 昼食 13:00 開会式 13:20 「みんなであそぼーや」 17:00 タベのつどい 17:15 夕食 18:30 「工夫してあそぼーや」 20:30 入浴・班会 21:30 就寝準備 22:00 消灯・就寝</p>	<p style="text-align: center;">1月15日(日)</p> <p>6:30 起床・洗面・清掃 7:30 朝のつどい 7:45 朝食 8:40 退所点検 9:00 「考えてあそぼーや」 11:30 感想・アンケート記入 12:00 昼食 13:00 閉会式 13:15 退所・自然の家発 15:45 はりまや橋観光バスターミナル着</p>
<p>活動の様子</p>	<p>○1月14日土曜日(1日目)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>高知県内の8市町村から小学4～6年生38名が参加して、本年度のボランティアリーダー自主企画事業「あそぼーや」が始まった。到着して昼食だったが、すぐに打ち解けて班のリーダーや仲間とおしゃべりしながら食べる姿が見られた。</p> <p>開会式の後、「仲間とのコミュニケーション」をねらいとした全体遊びを実施した。自己紹介や新聞紙を使った遊びに続き、体育館に移動して、「漁師と魚」(班対抗鬼ごっこ)やドッチビーを利用したサッカーゲーム等で元気に体を動かしていた。</p> <p>夜は、「世界中の遊び、新しい遊びに興味を持つきっかけづくり」をねらいとして、ボランティアリーダーが「岩の上のコマ(ドイツ)」「ダックダックグース(アメリカ)」「ハウババンデイラ(ブラジル)」を紹介し、実施した。体育館いっぱいのスペースを使って元気に走り回る参加者の姿が見られた。</p>	

○1月15日 日曜日（2日目）



まず、体育館でアレンジドッジ「旅人の冒険」をして、普段学校でやっているドッジボールもちょっと工夫することで遊びがより面白くなることを実感した後、グラウンドに移動して、班ごとに遊びを考えたり、アレンジしたりした。基本となる遊びのやり方やルールを変えて実際に自分たちがやってみて、改良していく姿が見られた。子供達が工夫したりアレンジしたりした遊びは「サバイバルおにドッジ」「ドロあて（ケイドロと的あての合体型）」「コードロボール」「いろいろなお題をクリアしてにげきれ（おにごっこのアレンジ）」「ケイドロスペシャル」「戦闘ドッジ（王様ドッジのアレンジ）」である。

続いて、遊び方を書いた紙を示しながら他の班に説明し、遊びの交換をした。自分たちが考えた遊びを他の班の友達が楽しそうに行っているのを見ながら、指示やアドバイスをする子供達。寒さにも負けず元気いっぱいグラウンドを走り回る姿が見られ、「もっとやりたい」の声も聞こえた。

昼食、閉会式の後、送りのバスに乗り込んだ。帰りのバスの中は、仲良くなった友達やボランティアリーダーと会話するにぎやかな声があふれていた。

事業の成果

今回の事業でボランティアリーダーたちが大切にしていた「多様な遊びとの出会い」「他者との関わり」は随所に見ることができた。遊びを工夫する際、子供達は予想されるトラブルについても話し合い、ルールに反映していた。また、遊びの交換では、紹介された遊びに分からない点があれば積極的に質問する姿も見られた。けが人を出さず、参加者を満足させて事業を終えたことは一定の成果だと言える。

事業の課題

- ・ 企画の段階から明確なゴールイメージを持つ
- ・ やらせっぱなしにせず、子供達に振り返りをさせたり、その場で必要な支援や評価をしたりする
- ・ 子供達の力を信じてもっと任せて自由に体験させてみる
- ・ 事業全体の反省をボランティアリーダーと職員合同でする時間を確保する

参加者の感想

【小学生】

- ・ 海外の遊びがとっても楽しかった。
- ・ いつもと違う遊びや気になる遊びがいっぱいあって、楽しかったうれしかった。
- ・ みんなで遊べて、「仲間っていい」と思った。
- ・ 想像力を働かせて遊びを考えることができた。
- ・ 遊びは、考えるともっと面白くなるのが初めて分かった。
- ・ 自分で新しいルールを作って遊ぶのは、色々工夫がいるから大変だったけど、班の人とたくさん話せたから楽しかった。

【ボランティアリーダー】

- ・ 子供達が今までにないくらい楽しんでくれていた。
- ・ 今回の反省をこれからの活動に活かしていきたい。
- ・ 自然の家の方針と安全管理の徹底は必要だと思った。
- ・ 個性豊かな子供達がそろっていて大変だったが、充実した1泊2日だった。